

羊の声に癒された後は、元禄時代に四十七士

「大石内蔵助」の悩む心の自筆の手紙を拝見し、「僧俊恵と近江商人・松居久治郎」のお話しを長寿寺ご住職直々にお聴きし元禄時代の体験をしました。住職さんは「他にもお寺のお宝があります、四十七士の自筆の手紙が一番のお宝です」とはつきり言われていたのがとっても印象的でした。

その後、日本史を変えたかもしれない信長の受難した千草越え時に寄り、速水の勘六左衛門の信長駒つなぎの松を見て信長公の側室お鍋さんの住んだ、野面積の残る屋敷跡で戦国の波に翻弄されたお鍋の方の一生をたずねました、もし自分が戦国時代に生まれてお鍋さんのような生活を強いられればどうだろうと脳裏をかすめました、考えられませんでしょうか。研修を参加された方達もどうだったのだろうか。東近江の研修も無事に何事もなく帰路につき東近江の方達にはお世話になりました、有り難うございました。



東近江ブロック交流会に参加して

服部 典子

平成三十年三月十四日 愛東コミュニティセンターにて行われました永源寺支部、愛党支部主催の交流研修会に参加させていただきました。参加者数は百二十四名、うち近江八幡支部四十三名でした。

オープニングイベント 音楽ユニット「わ音」の美しい音色に聞きほれ琵琶湖周航の歌も六番まで聞き、心地よい時があつという間に過ぎ開会式になり

ました。

講演「鈴鹿十座と日本遺産 奥永源寺山村風景」山が大好きな方はもちろん山は見るだけの私にも山・山村の美しい風景が感じられました。

さて現地研修コース①はコミセンより永源寺まで二十八キロメートル、バスに揺られ案山子の畑を車中より見学、忠連谷ひつじの里、天台宗長寿寺では赤穂四十七士にまつわる大石内蔵助の書や関係文書を拝見し、信長が愛した駒つなぎの松と次々に見学、最後はお鍋屋敷の散策となりました。

親睦を深め合う一日となりました。ありがとうございました。

東近江ブロック交流研修会に参加

内池 教子

三月一四日、東近江ブロック交流研修会が東近江市観光ボランティアガイド協会の主催により、愛東コミュニティセンターで行われました。オープニングは音楽ユニット「わ音」の美しい歌声で迎えられました。ご当地ソングの「永源寺の恋」や、周知の「琵琶湖周航の歌」を六番まで、情緒豊かに聴かせていただきました。

続いて、講演は永山会の加藤紳一朗氏による「鈴鹿10座と奥永源寺山村景観」というテーマで、鈴鹿のそれぞれの山の紹介と魅力、また登山のリスクについてお話いただきました。山の美しい景観を実際